

●メルコホールディングス株式情報 (2010年3月31日現在)

決算日 3月31日

定時株主総会 6月

株主確定基準日 議決権行使株主 3月31日  
期末配当金受領株主 3月31日  
中間配当金受領株主 9月30日

上場証券取引所 東証・名証一部

証券コード 6676

発行済株式数 22,237,873株 (自己株式控除後 22,214,985株)

株主数 10,386名 (2010年3月31日現在)

1単元の株式数 100株

公告の方法 電子公告 <http://melco-hd.jp/koukoku/>

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店

◎株式に関するお手続きについてご不明な点、確認したい点などがある場合は、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。

TEL 0120-232-711

(土・日・祝祭日を除く9:00から17:00通話料無料)

◎株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っています。

TEL 0120-244-479 (通話料無料)

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

幹事証券会社 (主) 大和証券SMBC

(副) 野村證券、みずほインベスターズ証券、日興コーディアル証券

株式会社 **メルコホールディングス**

本社 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL 052-619-1551 (代) FAX 052-619-1800  
<http://melco-hd.jp/> (証券コード6676)

株式会社 **バッファロー**

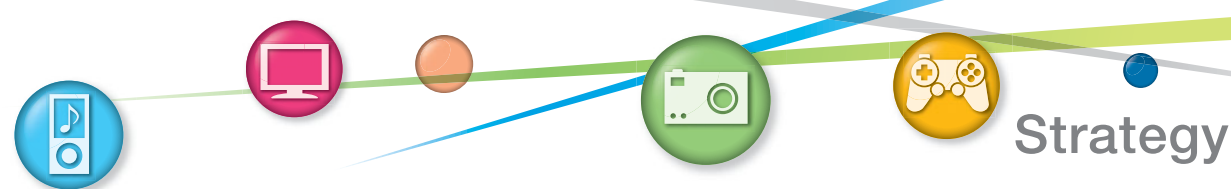
本社 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL 052-619-1811 (代) FAX 052-619-1800  
東京支店 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2茅場町タワー TEL 03-3523-3333 (代) FAX 03-3523-3300  
<http://buffalo.jp/>



# Business Report 2010

2009.4.1—2010.3.31

**メルコグループ**



## 「成長」がメルコグループの原点

### ● 原点回帰し、製品力の強化に注力

私たちメルコグループは、株式会社バッファローを中核としたパソコン周辺機器の総合メーカーです。当期の日本経済は、世界同時不況の最悪時の状況を脱し、ゆるやかながら回復に転じました。メルコグループにとって関係の深いパソコン関連業界は、当期後半の新OS(Windows® 7)の登場により、個人向け需要はやや回復しましたが、法人向け需要は引き続き低迷し、これに関連する周辺機器市場も厳しい状況が続きました。

このような厳しい市場環境の中で、メルコグループは販売市場でのシェア確保に努力するとともに、原点である製品力の強化に注力し、デジタルホーム市場の成長を促進させる製品を積極的に展開しました。しかし、デフレによる販売価格の下落や不採算であった国内LCD事業、北米におけるメモリ事業からの撤退が影響し、売上高は1,169億11百万円(前期比2.8%減)と前期を下回る結果となりました。一方、営業利益においては、採算を重視した方針転換により海外子会社の大幅な利益改善が進み、国内においては、高付加価値製品の投入、徹底した経営の効率化、原価低減と経費削減などの努力により、営業利益75億42百万円(同253.8%増)、経常利益76億52百万円(同238.8%増)、当期純利益49億90百万円(同605.2%増)といずれも過去最高となりました。

※Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。



株式会社メルコホールディングス  
代表取締役社長 牧 誠

写真：朝日新聞提供

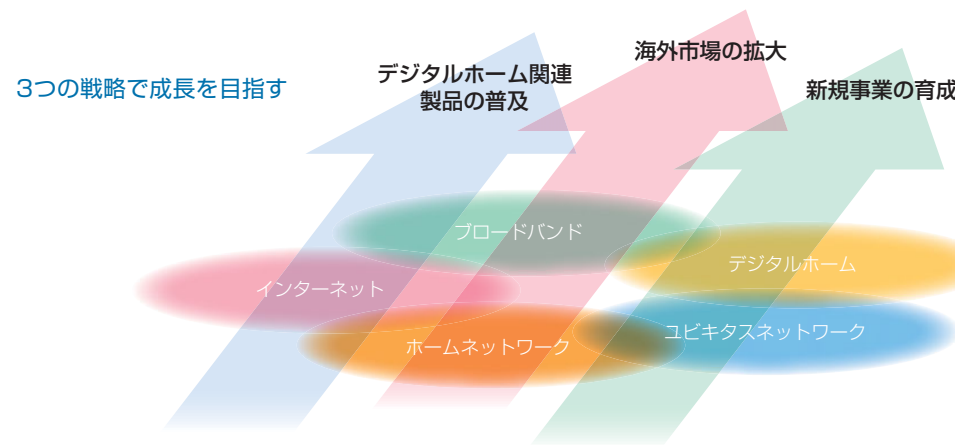
### ● 将来の成長への布石に積極的に投資

次期の日本経済の見通しは、長引くデフレなどが響き、実感の乏しい緩慢な回復局面が続くものと思われます。しかし一方で、デジタル家電やホームネットワークの普及に伴い、デジタル家電の周辺機器市場ともいべき新たな成長市場出現の兆しが見え始めました。

メルコグループは、総合周辺機器メーカーとしてのこれまでの実績を活かし、人々の豊かなデジタルライフを実現する多彩な製品やソリューションを積極的に展開し、デジタル家電の周辺機器市場の成長促進を図ります。

また、将来の成長を期し、最重要戦略課題である海外市場の拡大、新規事業の育成を実現するため、海外事業人材育成に向けた教育投資、新規事業開発体制確立に向けた投資を積極的に行います。これらにより売上高1,300億円(前期比11.2%増)、営業利益80億円(同6.1%増)、経常利益80億円(同4.5%増)、当期純利益49億円(同1.8%減)を見込んでいます。

このようにメルコグループは社会の変化に柔軟に対応し、開拓精神をもって挑戦を続けることで、今後も成長してまいります。



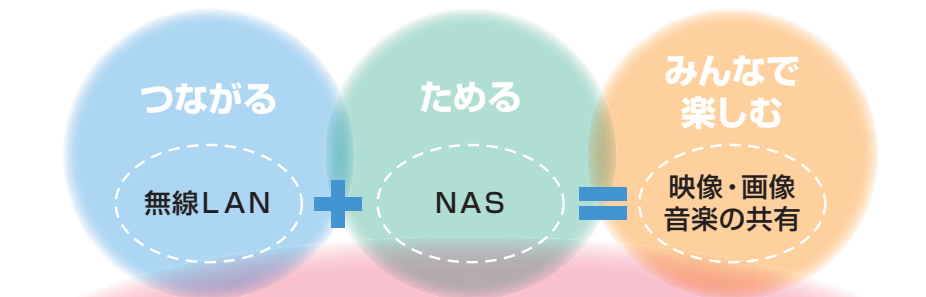
## デジタルライフ、もっと快適に

### ● デジタルホームの普及拡大へ

地上デジタルテレビのインターネット活用に加え、携帯電話への無線LAN搭載も広がってきました。家庭内でのホームネットワークに接続し、高速な無線LANを用いることで、アプリケーションや動画などの大容量データも高速ダウンロードでき、快適に利用できるようになります。

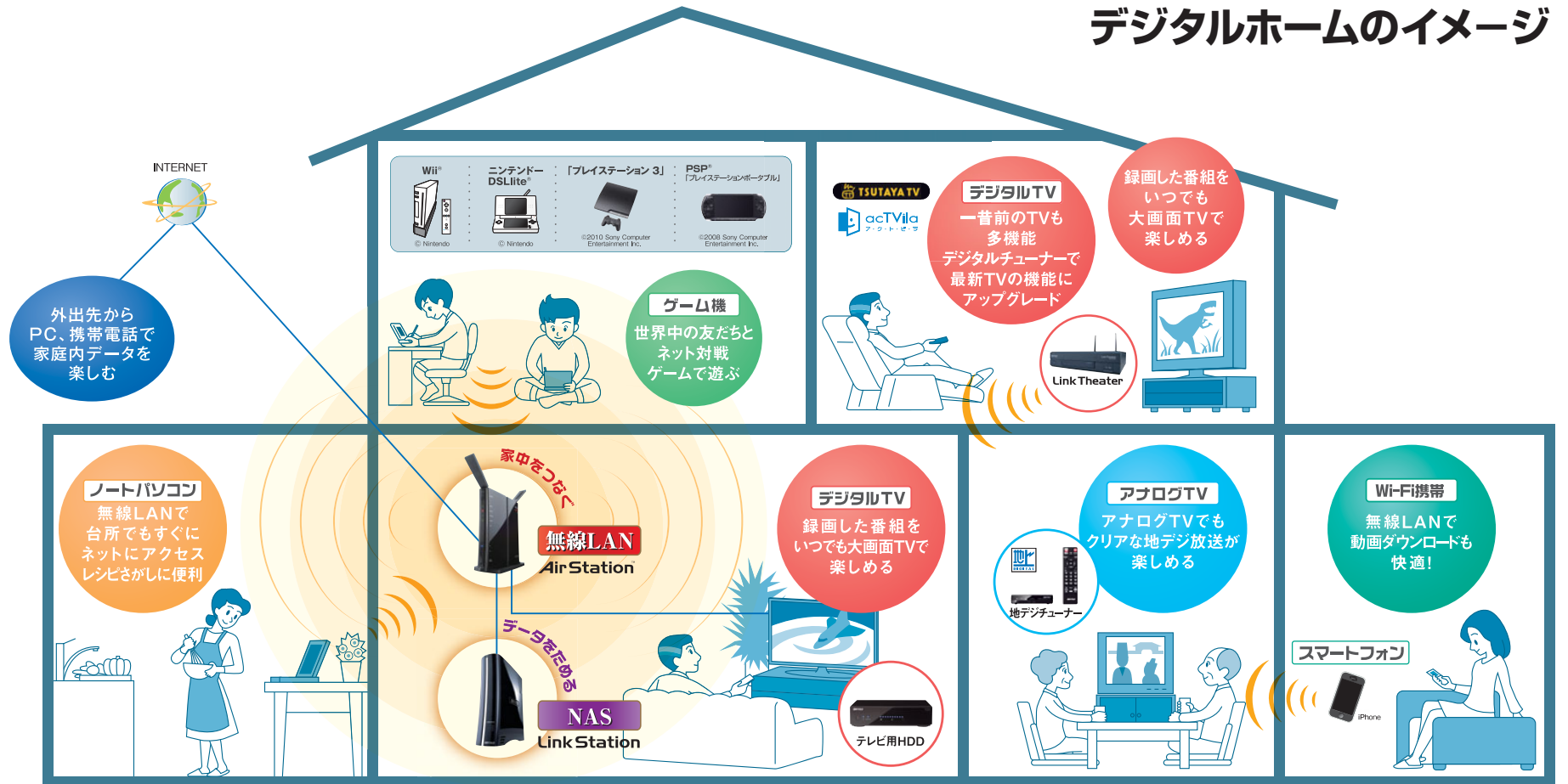
また地上デジタルテレビの録画においても、外付ハードディスクを用いるモデルが登場し、ハードディスク容量が不足しても、外付ハードディスクを増設する事で、簡単に長時間録画が可能となっています。

このようにデジタル家電、ホームネットワーク、パソコン周辺機器が融合したデジタルホームはすでに普及が始まっています。今後さらに融合が進み、もっと簡単にデジタルホームの楽しさ、快適さを誰もが享受できる社会になっていきます。



ホームネットワークにTV、ゲーム機やパソコンが接続され、インターネットやTV放送、録画されたビデオがどこでも自由に楽しめる！

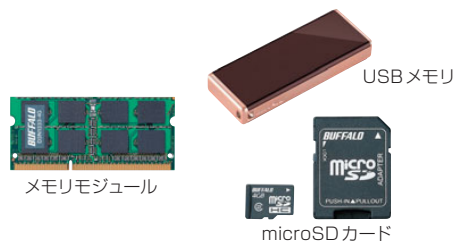
## デジタルホームのイメージ



※ニンテンドーDSおよびWiiは、任天堂の登録商標です。 ※掲載内容およびイラストは当社が独自に調査・制作したものであり、任天堂が認定・後援・その他承認したものではありません。本内容について、任天堂へのお問い合わせは御遠慮ください。  
 ※「プレイステーション」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。また、「プレイステーション 3」は同社の商品です。 ※©2010 Sony Computer Entertainment Inc. All rights reserved. Design and specifications are subject to change without notice.  
 ※「プレイステーション」および「PSP」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。また、「PSP」は同社の商品です。 ※©2008 Sony Computer Entertainment Inc. All rights reserved. Design and specifications are subject to change without notice.  
 ※iPhoneはApple Inc.の商標です。 ※acTViLaは株式会社アクティラの商標です。

## ●メモリ製品

「メモリモジュール」はパソコンの記憶容量を増加させる製品です。パソコンの記憶容量を増やすと、一度に扱えるプログラムやデータの量が大きくなり、効率良く速く処理することができます。メモリ製品にはそのほかにも、手軽にデータを持ち運べる「USBメモリ」、デジタルカメラで利用する「SDカード」「コンパクトフラッシュ」、携帯電話で利用する「microSDカード」などがあります。



## ●ストレージ製品

ストレージ製品は、ソフトウェアやデータを保存する記憶装置です。「外付ブルーレイドライブ」「外付DVDドライブ」「外付ハードディスク」「ポータブルハードディスク」「NAS(ネットワークハードディスク)」などのほか、衝撃に強く小型で静音に優れた「SSD(シリコンディスク)」があります。

### ■外付ハードディスク

ストレージ製品の売上高の大部分を占める主力製品です。パソコンのデータやデジタルビデオカメラで撮影した写真/動画の保存などに使用します。また、最近では地上デジタルテレビで番組をハードディスクに録画する用途が増えており、ハードディスクの増設需要が高まっています。



### ■NAS(ネットワークハードディスク)

ネットワークに接続して、大容量のデータを複数のパソコンやデジタル家電で共有できるハードディスクです。ご家庭で気軽に利用できるコンパクトなタイプから、高信頼・高機能のビジネスユースまで、幅広いモデルをラインナップしています。



## ●ネットワーク製品/ブロードバンド製品

ネットワーク製品の代表的なものには「無線LANルータ」「有線ブロードバンドルータ」「LAN用ハブ」「LANアダプタ」などがあります。ネットワーク製品を用いることで、複数のパソコンでデータを共有したり、インターネットを利用したりできるようになります。特に「無線LAN」はわずらわしい配線が必要ないため、ホームネットワークでの利用が増えています。携帯電話や地上デジタルテレビ、ゲーム機等デジタル家電での利用も広がり、ますます無線LANの普及がすすんでいます。



## ●デジタルホーム製品

パソコンやデジタル家電をネットワークで結ぶ「デジタルホーム」を利用するための製品です。パソコンで地上波デジタルハイビジョン放送が楽しめる超小型のパソコン用地上デジタルチューナー「ちょいテレフル」、一昔前のテレビを最新テレビの機能にアップグレードする多機能デジタルチューナーなどラインナップがどんどん増加しています。



## ●その他の製品

### ■サプライ・アクセサリ製品

「マウス」「キーボード」などの入力機器、「Webカメラ」「ヘッドセット」などのマルチメディア機器、「FMトランスミッター」などの携帯音楽プレイヤー用アクセサリ、「USBケーブル」などの各種ケーブル、「液晶TVガード」などのテレビアクセサリといったパソコンやテレビ等のデジタル家電を楽しく、使いやすくする製品群です。



### ■その他

DOS/Vパーツなどの機器類の他、個人向けのパソコン設定サービスや法人向けの設置工事、導入コンサルタントなどのサービスも含まれます。



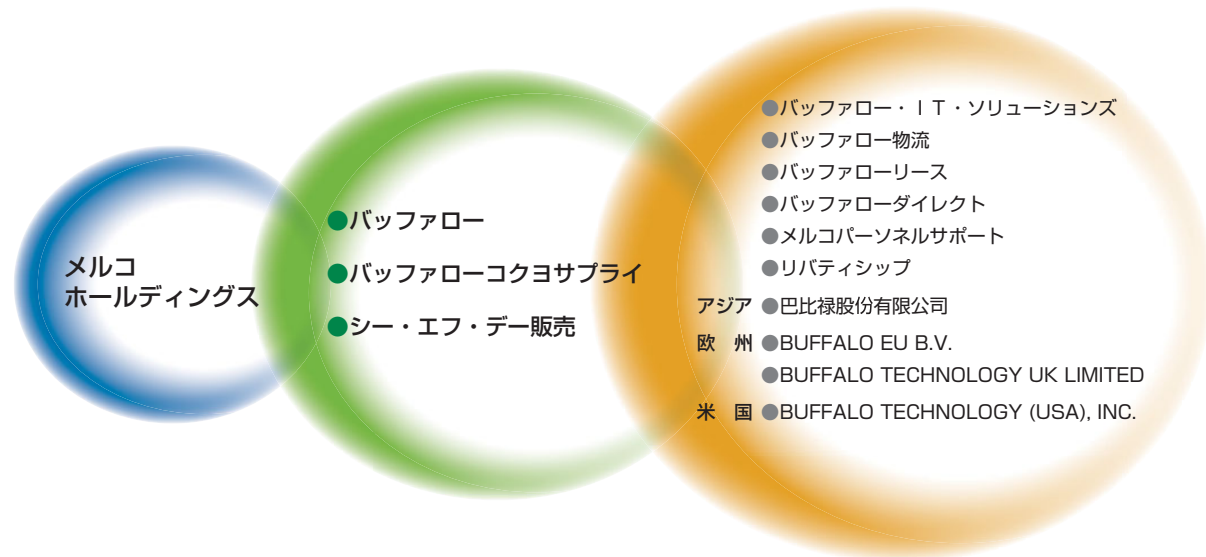
## デジタルホーム

デジタルホームという使い方が普及すると、メルコグループの多くの製品に影響します。一昔前のテレビを最新テレビの機能にアップグレードする多機能デジタルチューナー、地上デジタルテレビの番組を録画するための「外付ハードディスク」、そしてホームネットワークの中心となる「無線LAN」、さらにDVDレコーダやホームサーバの増設機となる「NAS(ネットワークハードディスク)」など、多くの製品に波及効果が見込まれます。



# グループ紹介

メルコグループは、株式会社メルコホールディングスと連結子会社14社により構成されています。パソコン周辺機器の総合メーカーとして、機器の開発から販売、設置・設定・保守サービス、アフターサポートまで、全国の法人・個人を対象に、IT・ネットワーク環境構築に必要な機器・サービスを提供しています。



- **株式会社バッファロー**  
メルコグループの中核となるブランドメーカー。デジタルホーム市場の成長を促進させる製品を積極的に展開しています。
- **株式会社バッファローコクヨサプライ**  
コンピュータ用の各種アクセサリ、各種接続ケーブル、サプライ品などを開発・製造・販売しています。
- **シー・エフ・デー販売株式会社**  
「パソコンパーツの総合サプライヤー」をめざしています。「玄人志向」ブランドを展開。
- **株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ**  
個人・法人を対象にパソコン設定・ネットワークインフラ構築・保守などのサービスを提供しています。
- **株式会社バッファロー物流**  
コンピュータ周辺機器の製造、検査、梱包、出荷などを行っています。

- **株式会社バッファローリース**  
通信キャリアやビデオ配信サービス業者など、機器を配布するサービスのレンタル代行を行っています。
- **株式会社バッファローダイレクト**  
インターネットを活用し、メルコグループ各社の商品を直販しています。
- **株式会社メルコパーソナルサポート**  
事務職を一括採用して派遣する人材派遣会社です。主にメルコグループ各社に派遣しています。
- **株式会社リバティシッパ**  
ユーザ同士、ユーザと企業を結ぶ、インターネットによるコミュニケーションサービスを提供しています。

# Group Companies

## ●メルコグループ

- **株式会社メルコホールディングス** 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL 052-619-1551 (代) FAX 052-619-1800
- **株式会社バッファロー** 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL 052-619-1811 (代) FAX 052-619-1800
- **株式会社バッファローコクヨサプライ** 〒457-0831 名古屋市南区荒浜町4-6-1 TEL 052-619-7511 FAX 052-619-7555
- **シー・エフ・デー販売株式会社** 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL 052-619-1311 FAX 052-619-7785
- **株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ** 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー TEL 03-6280-0777 FAX 03-6280-0779
- **株式会社バッファロー物流** 〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中京倉庫内 TEL 052-883-3035 FAX 052-883-3042
- **株式会社バッファローリース** 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー TEL 03-3523-3354 FAX 03-3523-3300
- **株式会社バッファローダイレクト** 〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中京倉庫内 TEL 052-882-3302 FAX 052-882-3302
- **株式会社メルコパーソナルサポート** 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL 052-619-7224 FAX 052-619-7233
- **株式会社リバティシッパ** 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー TEL 03-3523-3368 FAX 03-3523-3300

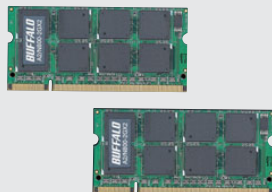
## ●海外関連会社

- アジア** 巴比禄股份有限公司  
インターネット関連機器およびコンピュータ周辺機器の製造・販売  
7F, No.18, Lane609, Sec.5, Chung Hsin Rd., Sanchung City, Taipei Hsien, TAIWAN  
TEL 886-2-2999-9860  
FAX 886-2-2999-2264
- 欧州** BUFFALO EU B.V.  
欧州統括会社  
Polarisavenue 85, 2132 JH Hoofddorp, The Netherlands  
TEL 31-23-554-6010  
FAX 31-23-554-6019
- EUROPE** BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED  
インターネット関連機器およびコンピュータ周辺機器の販売  
2, Bracknell Beeches, Old Bracknell Lane, Bracknell, Berkshire RG12 7BW, United Kingdom  
TEL 44-1344-381700(代)  
FAX 44-1344-381710
- 米国** BUFFALO TECHNOLOGY (USA), INC.  
インターネット関連機器およびコンピュータ周辺機器の販売・製造  
11100 Metric Boulevard suite 750 Austin Texas 78758  
TEL 1-512-794-8533  
FAX 1-512-794-8520



## ●メモリの進化を支えるバッファローの技術力

バッファローは電子部品の標準化を推進する組織「JEDEC」に1996年から加盟し、同組織を通じて世界的なメモリモジュール規格の策定に貢献してきました。現在、全世界で使用されているほとんどのノートパソコンに搭載されている世界標準規格に準拠したメモリモジュールには、バッファローの設計が採用されています。今後も次世代の高速メモリモジュール開発に積極的に取り組んでいきます。

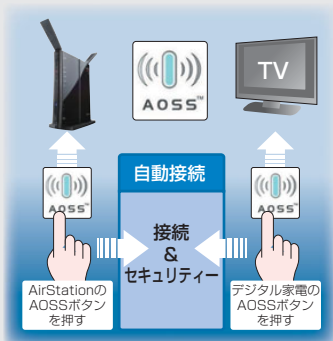


## ●ホームネットワークの普及を加速させる「AOSS」

バッファローでは無線LANの普及拡大を目指すため、2001年に無線LANの接続やセキュリティ設定を、ボタンを押すだけのワンタッチで行えるシステム「AOSS(AirStation One-Touch Secure System)」を独自に開発しました。AOSSはその設定の簡単さにより、ソニーや任天堂のゲーム機をはじめ、携帯電話や、地上デジタルテレビ、ブルーレイディスクレコーダー等のデジタル家電にも採用が広がっています。

また、「AOSS」で培った技術をベースに、バッファローが提案活動に取り組んできた「押しボタン」方式が、Wi-Fiアライアンス(\*)が策定した無線LAN簡単設定規格「WPS」に採用されています。このことは、バッファローがワイヤレスホームネットワークの発展を牽引するリーディングカンパニーとして世界に認められた証といえます。

※無線LAN関連製品を製造・販売する企業が集まる業界団体



## ●デジタルホーム市場を育成する製品群

2011年の地デジ完全移行を控え、デジタルホームの普及が加速しています。バッファローでは、デジタルホーム市場育成の一環として、一昔前のテレビを最新テレビの機能にアップグレードするような多機能デジタルチューナーを販売しています。

その中で研究開発の一環として、インターネットサービスのコンテンツ決済などをより簡単に手軽に行う事が出来る「FeliCa™」対応リーダーライター機能搭載機器の開発を行っています。こうした製品の開発を通して、デジタルホーム市場の育成を進めています。

※「FeliCa」はソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。



## ●法人ユーザのニーズに応える製品群

個人情報保護法、会社法、金融商品取引法などにより、保存データのセキュリティ強化は、企業においてますます重要な課題となっています。バッファローでは、情報漏えい防止のために利用するセキュリティUSBメモリの集中管理ソフトウェア「SecureLock Manager」や、社内ネットワーク機器の管理、設定の負荷軽減を目的とした、ネットワーク機器の集中管理・設定ソフトウェア「BN-ADT」など、法人ユーザのニーズに応えるさまざまな製品を販売しています。



「SecureLock Manager」設定画面



## ●スタイリッシュなピアノブラック筐体のハイデザインハードディスクを発売

テレビ視聴機能や大型液晶を搭載した最新パソコンや地上デジタルテレビのそばに横置きで設置ができるスタイリッシュなハイデザインハードディスクを2009年12月に発売しました。ハードディスクの空き容量がひと目でわかる残量メーターを搭載しているため、不要な番組を消去したり、ハードディスクを増設する際の目安になります。



テレビ用外付ハードディスク

## ●世界初(\*)USB3.0外付ハードディスクを発売

バッファローでは、USB2.0の480Mbps(規格値)の10倍以上の5Gbps(規格値)のスピードとなったUSB3.0外付ハードディスクを2009年10月に世界初にて発売しました。その他、ポータブルハードディスクやシリコンディスク、外付ブルーレイドライブなどUSB3.0製品ラインナップを拡充しています。

※2009年10月7日現在、弊社調べ



USB3.0対応外付ハードディスク

USB3.0対応ポータブルハードディスク

USB3.0対応ブルーレイドライブ

## ●総務省が無償給付する「簡易な地デジチューナー」の納入メーカーとして選定

2011年7月24日に実施される地上デジタル放送への完全移行に向けて、総務省が「地上デジタル放送受信機器購入支援事業」において無償給付する「簡易な地デジチューナー」の納入メーカーに、バッファローが2009年9月に選定されました。



アナログテレビ用地デジチューナー

## ●パソコンを高速、便利にするソフトウェア集「バッファローツールズ™」を開発

「バッファローツールズ™」とは対象のメモリ、ハードディスク製品を購入すると無償で添付されており、パソコンを高速化する「ターボPC」や、ファイルコピーを高速化する「ターボコピー」、ドライブを監視して省エネを実現する「ecoマネージャー」等、パソコンを高速、便利にするソフトウェア集となっています。今後発売されるメモリ、ハードディスク製品等の上位モデルを中心に添付をすすめていく予定です。



バッファローツールズセットアップ画面

### ●PC周辺機器関連3社による「一般社団法人デジタルライフ推進協会」設立

2010年2月、(株)アイ・オー・データ機器、(株)デジオン、(株)メルコホールディングスのPC 周辺機器関連3社にて、地上デジタル放送への移行やパソコンでのテレビ視聴など、新たな視聴形態を「デジタルライフ」と位置づけ、利用者にとって便利で健全なデジタル社会の実現する「一般社団法人デジタルライフ推進協会」を設立しました。

本協会の代表理事は、メルコホールディングス 代表取締役社長 牧誠が務め、地上デジタル放送をはじめ、消費者がデジタルライフをより手軽に楽しめる環境づくりや規則づくりへの提言等を行っていきます。

(<http://dlpa.jp/>)



### ●海外展開の強化

メルコグループでは海外進出をさらに加速させるため、海外のニーズを直接製品化できるよう現地法人で製品企画できる体制の構築をすすめています。

2010年1月に発表した「DUALIE (デュアリー)」もその一環で、当社の米国Buffalo Technology (USA), Inc. が企画し、プロモーション活動を欧州Buffalo Technology (UK), Ltdが担当しました。

このように、メルコグループは、海外体制構築を推し進め、海外市場の拡大に取り組みます。

※iPhoneはApple Inc.の商標です。



### ●Ingram Micro社と全欧州契約を締結

BUFFALO EU B.V.は、欧州地域における販路拡大をめざし、Ingram Micro社と全欧州(Pan-European)契約を締結しました。Ingram Micro社は、世界各国でIT製品の卸売りを手掛ける世界最大級の代理店です。この契約によって、欧州市場に対する販路拡大を促進します。

## 社会貢献活動

### ●未踏IT人材発掘・育成事業

IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)が行う「未踏IT人材発掘・育成事業」。この事業は、ソフトウェア開発分野においてイノベーションを創出することのできる独創的なアイデアと技術を有するとともに、これらを活用していく能力を有する優れた個人(スーパークリエイター)を、優れた能力と実績を持つプロジェクトマネージャー(PM)のもとに発掘育成するというもの。メルコグループはこの事業において、プロジェクト管理業務を委託されています。

この事業に関わる中で、次世代のIT市場創出を担う優れた研究者との新しい取組みも生まれており、新市場を切り開く原動力となることが期待されています。2009年における開発人材採用活動と連携して、08年度上期「スーパークリエイター」認定開発者を当社で採用、今春入社、また08年度下期スーパークリエイターも1名、来春入社予定。



### ●財団法人メルコ学術振興財団

メルコグループは創業30周年を記念する社会貢献事業として「財団法人メルコ学術振興財団」を2007年に設立しました。この財団は、日本の管理会計実務に関する研究への助成などを通じて、管理会計学の発展と普及、さらにはわが国の学術・文化の発展に寄与することを目的としています。

2009年度は「21世紀型企業組織と戦略実行機能としての管理会計の研究」など、19名の研究者に助成を実施しました。管理会計の重要性がさらに高まりつつある中、この成果は広く社会に還元されていくものと期待しています。



# 財務情報

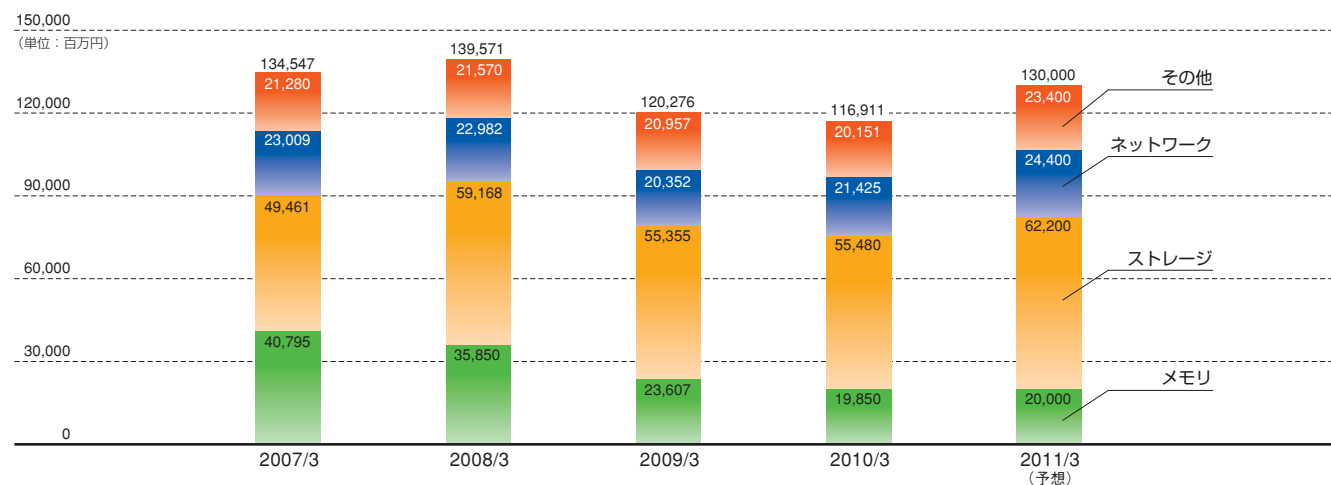
## ●メモリ製品

メモリ製品では、パソコンのメモリ初期搭載容量の大容量化によるメモリモジュールの追加購入需要の低迷と北米市場からの撤退により、メモリモジュールの販売台数は前年同期比で23.4%減少し、売上高は101億51百万円と前年同期を30.7%下回る結果となりました。一方、USBメモリに代表されるフラッシュメモリ製品においては、懸命な販売努力により、販売台数が前年同期比で2.2%増加し、売上高は96億99百万円と前年同期を8.3%上回る結果となりました。

## ●ネットワーク製品

ネットワーク製品では、携帯電話や地上デジタルテレビなど無線LANを利用する機器の増加に伴い、普及が進み、ブロードバンド製品の販売台数は前年同期比10.4%増加し、売上高は前年同期比5.3%増加の214億25百万円となりました。利益面では高速規格IEEE802.11nのハイパワー付加価値製品の販売増加と原価低減努力が貢献しました。

### 連結売上高



## ●ストレージ製品

ストレージ製品では、主力のハードディスク製品において販売価格の低下を余儀なくされたものの、従来のパソコン用途に加え、地上デジタルテレビの録画用途など新たな需要が顕在化しました。これらにより販売台数は前年同期比で9.2%増加し、売上高は426億46百万円と前年同期を1.4%上回る結果となりました。また、NAS（ネットワークハードディスク）製品では、海外及び国内法人市場の需要低迷による販売台数減少（前年同期比0.9%減）が響き、売上高は前年同期比3.4%減少の128億34百万円となりました。

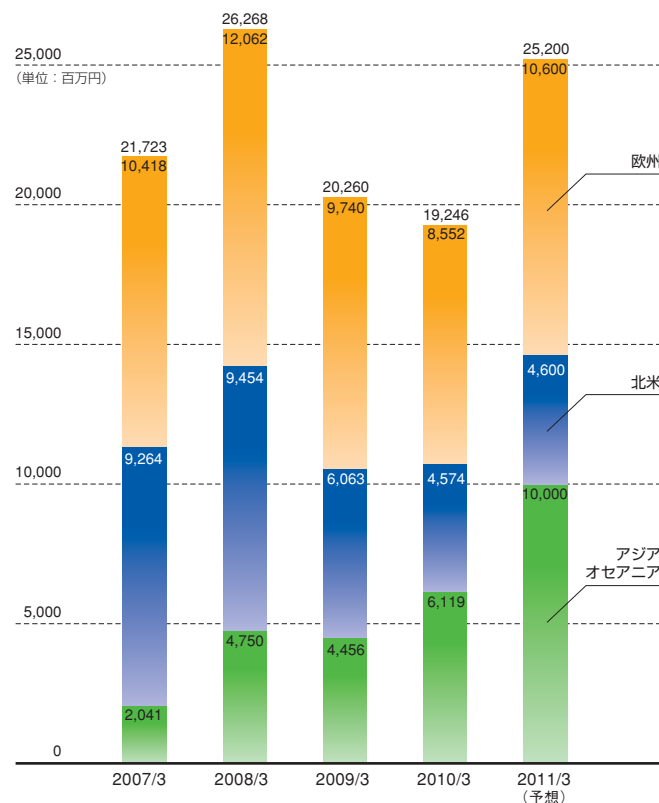
## ●その他の製品

デジタルホーム製品では、アナログテレビ用地上デジタルチューナーが徐々に売上を伸ばし始め、総務省による「地上デジタル放送受信機器購入支援事業」において無償給付する「簡易な地デジチューナー」に当社製品が採用されたことなどにより、販売台数は前年同期比84.7%増加し、売上高は前年同期比10.5%増の37億78百万円となりました。また、サプライ・アクセサリ製品はシェア拡大努力を進め、販売台数は7.2%増加したものの、売上高は前年同期比微増の94億47百万円となりました。

## ●海外の売上

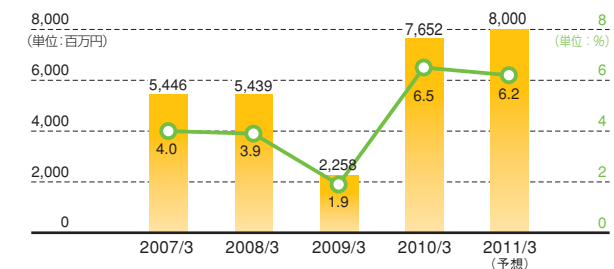
海外売上につきましては、依然として欧米では厳しい市場環境が続き、海外売上全体としては前年同期比で5.0%減少しました。この中においてアジア・オセアニア地域は販売拡大に努めた結果、売上高が前年同期比37.3%増と大きく伸ばしました。また、北米及び欧州においては売上と利益のバランスを重視し、不採算事業からの撤退とともに経営体質の強化に注力した結果、売上高は減少しましたが、営業利益ではいずれも黒字化しました。

### 海外売上推移

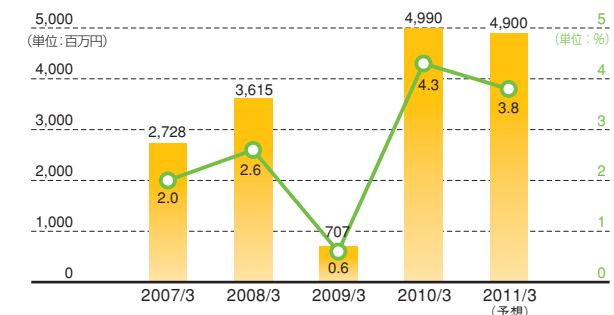


# Financial Report

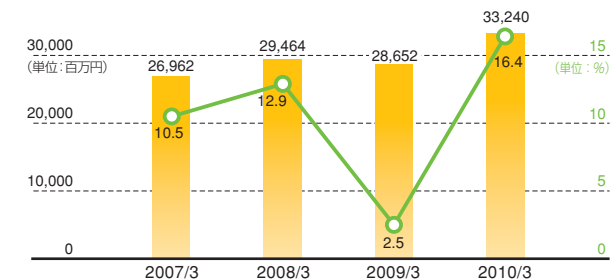
### 連結経常利益と連結売上高経常利益率



### 連結当期純利益と連結売上高当期純利益率



### 連結株主資本と連結株主資本当期純利益率



(見通しに関するご注意) 上記の業績予測は現時点で得られる情報に基づいて算定されたものであり、多分に不確実な要素を含んでいます。従って、実際の業績は業況の変化により業績予測と異なる場合があります。



● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	57,617	46,345
固定資産	5,352	5,735
有形固定資産	867	1,487
無形固定資産	2,373	2,699
投資その他の資産	2,112	1,549
<b>資産合計</b>	<b>62,970</b>	<b>52,080</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	26,646	21,467
固定負債	3,082	1,960
<b>負債合計</b>	<b>29,729</b>	<b>23,427</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	31,045	26,810
自己株式	△58	△57
<b>株主資本合計</b>	<b>32,762</b>	<b>28,527</b>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	127	5
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	△276	△290
評価・換算差額等合計	△145	△285
新株予約権	4	4
少数株主持分	619	405
<b>純資産合計</b>	<b>33,240</b>	<b>28,652</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>62,970</b>	<b>52,080</b>

● 連結損益計算書

(単位:百万円)

区 分	当 期	前 期
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
売上高	116,911	120,276
売上原価	93,466	102,194
販売費及び一般管理費	15,902	15,949
<b>営業利益</b>	<b>7,542</b>	<b>2,132</b>
営業外収益	201	196
営業外費用	91	69
<b>経常利益</b>	<b>7,652</b>	<b>2,258</b>
特別利益	130	313
特別損失	452	854
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>7,329</b>	<b>1,717</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>1,386</b>	<b>315</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>737</b>	<b>533</b>
<b>少数株主利益及び少数株主損失(△)</b>	<b>214</b>	<b>161</b>
<b>当期純利益</b>	<b>4,990</b>	<b>707</b>

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	当 期	前 期
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,133	4,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,262	△2,155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△801	△1,440
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△95
<b>現金及び現金同等物の増減額(減少は△)</b>	<b>△922</b>	<b>472</b>
現金及び現金同等物の期首残高	12,900	12,428
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>11,977</b>	<b>12,900</b>

● 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

(単位:百万円)

区 分	株主資本					評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
前期末残高	1,000	774	26,810	△57	28,527	5	0	△290	△285	4	405	28,652
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減			-		-							-
<b>当期変動額</b>												
剰余金の配当			△755		△755							△755
当期純利益			4,990		4,990							4,990
自己株式の取得				△0	△0							△0
自己株式の処分		-		-	-							-
自己株式の消却		-		-	-							-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						122	2	14	139	-	214	353
<b>当期変動額合計</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>4,235</b>	<b>△0</b>	<b>4,234</b>	<b>122</b>	<b>2</b>	<b>14</b>	<b>139</b>	<b>-</b>	<b>214</b>	<b>4,588</b>
<b>当期末残高</b>	<b>1,000</b>	<b>774</b>	<b>31,045</b>	<b>△58</b>	<b>32,762</b>	<b>127</b>	<b>2</b>	<b>△276</b>	<b>△145</b>	<b>4</b>	<b>619</b>	<b>33,240</b>

前連結会計年度(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

(単位:百万円)

区 分	株主資本					評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
前期末残高	1,000	1,927	26,881	△637	29,172	275	8	△159	123	2	165	29,464
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減			△5		△5							△5
<b>当期変動額</b>												
剰余金の配当			△774		△774							△774
当期純利益			707		707							707
自己株式の取得				△573	△573							△573
自己株式の処分		△0		1	0							0
自己株式の消却		△1,151		1,151	-							-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△269	△8	△130	△408	1	239	△167
<b>当期変動額合計</b>	<b>-</b>	<b>△1,152</b>	<b>△66</b>	<b>579</b>	<b>△639</b>	<b>△269</b>	<b>△8</b>	<b>△130</b>	<b>△408</b>	<b>1</b>	<b>239</b>	<b>△806</b>
<b>当期末残高</b>	<b>1,000</b>	<b>774</b>	<b>26,810</b>	<b>△57</b>	<b>28,527</b>	<b>5</b>	<b>0</b>	<b>△290</b>	<b>△285</b>	<b>4</b>	<b>405</b>	<b>28,652</b>

## 社名の由来

「メルコ」は「牧技術研究所」を意味しています。

「MELCO」のMは創業者でメルコホールディングスの代表取締役社長である牧誠の姓、Eは技術力の「Engineering」、Lは研究所の「Laboratory」、COは会社の「Company」の頭文字をとり、創業の1975年以来、社名として使用しています。

「バッファロー」はパソコン周辺機器の「プリンタバッファ」に由来しています。

メルコが1982年に発売した内蔵型プリンタバッファは、印刷中でもパソコンが使える周辺機器として大ヒット製品となり、当社躍進の基盤となりました。その後、当社製品のブランド名を一般公募し、採用されたのが「BUFFALO」です。プリンタバッファを動物の「バッファロー」に重ね合わせ、たくましく成長する当社のイメージを表現するブランド名として採用されました。

## メルコグループの あゆみ

- 1975年 5月 ●音響機器製品の製造・販売を目的としてメルコを創業
- 1978年 8月 ●メルコを株式会社とし、(株)メルコ(現(株)バッファロー)を設立
- 1981年 7月 ●パソコン周辺機器市場へ本格参入
- 1982年 11月 ●プリンタ内蔵型のプリンタバッファを発売
- 1986年 7月 ●名古屋市天白区に(有)バッファロー(現(株)メルコホールディングス)を設立
- 1988年 10月 ●わが国初のEMS ボード(メモリ)を発売
- 1991年 10月 ●(株)メルコ(現(株)バッファロー)が日本証券業協会へ店頭登録
- 1992年 1月 ●名古屋市南区に技術開発拠点「ハイテクセンター」(現(株)バッファロー本社)を開設
- 1992年 8月 ●LANを発売
- 1994年 2月 ●ハードディスクを発売 パソコン周辺機器の総合メーカーへ
- 1995年 1月 ●(株)メルコが名古屋証券取引所市場第二部に株式を上場
- 8月 ●(株)メルコが東京証券取引所市場第二部に株式を上場
- 1995年 9月 ●(株)メルコが品質保証の国際規格ISO9001の認証を取得
- 1996年 9月 ●(株)メルコが東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場
- 1999年 1月 ●無線LAN市場に参入、「AIRCONNECT」を発売
- 2000年 10月 ●DDR 対応ノートパソコン用メモリの世界標準規格を開発
- 2001年 1月 ●(株)メルコが環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得
- 2003年 5月 ●(株)バッファローが(株)メルコホールディングスに商号変更、名古屋市中区に本店を移転
- 10月 ●(株)メルコが(株)バッファローに商号変更、名古屋市南区に本店を移転
- 10月 ●(株)メルコホールディングスと(株)バッファローが株式を交換 持株会社体制に移行
- 10月 ●(株)メルコホールディングスが東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場
- 2004年 1月 ●デジタルホームソリューションズ事業部を新設
- 2005年 3月 ●NTT 東西の「オンデマンドTV」に専用セットトップボックスの供給を開始
- 7月 ●(株)バッファローが名古屋市南区に「テクニカルサービスセンター」を開設
- 2007年 4月 ●(株)メルコホールディングスが(株)アーベルを子会社化
- 5月 ●(株)エム・ティー・エスが(株)バッファロー・ITソリューションズに商号変更
- 8月 ●(株)アーベルが(株)バッファロー・ITソリューションズに商号変更
- 2008年 4月 ●バッファローEU B.V.を設立
- 2009年 3月 ●(株)メルコホールディングス本社事務所を名古屋市南区に移転

## ●株式会社メルコホールディングス

商号 株式会社メルコホールディングス  
(英文表記) MELCO HOLDINGS INC.  
設立 1986年(昭和61年)7月1日  
資本金 10億円  
事業内容 メルコグループの純粋持株会社  
傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援・経営指導を通じて統括管理を行う。  
従業員数 70名、メルコグループ連結871名  
グループ企業 会社数14社(国内9社・海外5社)

役員 (2010年6月29日現在)  
代表取締役社長 牧 誠  
専務取締役 斉木 邦明  
取締役 山口 英利  
取締役 松尾 民男  
取締役 李 洋憲  
取締役 牧 廣美  
取締役 津坂 巖  
常勤監査役 牧 博道  
監査役 西川 俊男  
監査役 川島 譲  
監査役 隅 朝恒

## ●株式会社バッファロー

商号 株式会社バッファロー  
創業 1975年(昭和50年)5月1日  
設立 1978年(昭和53年)8月5日  
資本金 3億2千万円  
事業内容 パソコン・ブロードバンド関連機器の開発・製造・販売および  
関連サービスの提供  
従業員数 434名

役員 (2010年6月29日現在)  
取締役会長 牧 誠  
代表取締役社長 斉木 邦明  
専務取締役 山口 英利  
取締役 松尾 民男  
取締役 続木 政直  
取締役 中井 一  
監査役 牧 博道  
監査役 金子 信正

### 事業所

本社 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL.052-619-1811 FAX.052-619-1800  
東京支店 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー TEL.03-3523-3333 FAX.03-3523-3300  
大阪支店 〒542-0012 大阪市中央区谷町9-1-18 アクセス谷町ビル TEL.06-6191-1511 FAX.06-6191-1510  
名古屋営業所 〒460-0011 名古屋市中区大須4-11-50 カミヤビル TEL.052-249-6600 FAX.052-249-6601  
仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-5-22 宮城野センタービル TEL.022-291-0311 FAX.022-298-9470  
福岡営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-9-2 YAOJIセンタービル TEL.092-477-3711 FAX.092-477-3755  
札幌営業所 〒060-0031 札幌市中央区北一条東1-4-1 サン経成ビル TEL.011-200-8150 FAX.011-200-8151